

**製品名: U1C ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02735**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.68mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 17 kDa; Observed MW: 21 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SNRPC
別名	U1 small nuclear ribonucleoprotein C; U1 snRNP C; U1-C
遺伝子 ID	6631
SwissProt ID	P09234
免疫原	ヒト U1-C の合成ペプチド

**背景**

スプライソソーム U1 snRNP の構成要素であり、pre-mRNA の 5'スプライス部位の認識とそれに続くスプライソソームの組み立てに

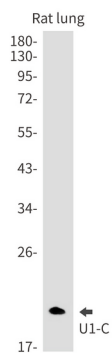
必須です。SNRPC/U1-Cは、恒常的スプライシングと制御的スプライシングの両方において、初期の5'スプライス部位の認識に直接関与しています。5'スプライス部位との相互作用は、pre-mRNAとU1 snRNA間の塩基対形成に先行すると考えられます。U1 snRNAの5'末端と5'スプライス部位領域の塩基対形成を安定化させることで、コミットメントまたは初期（E）複合体の形成を促進します。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ

U1C抗体を使用したラット肺溶解物中のU1Cのウエスタンブロット分析。



U1C抗体を使用したTHP-1、Jurkat、Hela、K562溶解物中のU1Cのウエスタンブロット分析。

